



社会の宝である子どもの健やかで心豊かな成長のために、地域が一体となり取り組みます！

「子ども遊び学び食堂・醍醐ネット」の創設について

本市では、子どもや青少年等に関する施策を融合し、子どもや子育てに関する支援を総合的かつ積極的に推進していくため、本年4月に「子ども若者はぐくみ局」を創設するとともに、5月には、区役所・支所において子ども・子育て支援の窓口を一元化した「子どもはぐくみ室」を設置し、「京都はぐくみ憲章」の理念に基づき、すべての子どもを地域で育む「はぐくみ文化」の醸成と、子どもの成長段階に応じた切れ目のないきめ細かな取組を積極的かつ効果的に展開しております。

この度、醍醐支所では、醍醐地域のすべての子どもの健全な成長と学びを支えるために、地域で主体的に取り組まれる「子どもの居場所」の安定的な運営を支える仕組みとして、「子ども遊び学び食堂・醍醐ネット」を創設し、関係機関による協定締結式を開催しますので、お知らせします。

1 協定締結式

- (1) 日時 平成29年6月24日(土) 午後2時～午後2時40分
- (2) 場所 パセオ・ダイゴロー 2階アトリウム(地下鉄東西線「醍醐駅」直結)
- (3) 出席者

＜協定締結者＞

- 村井 信夫 伏見区社会福祉協議会会長
岩井 義男 伏見区民生児童委員会会長
二木 久雄 ダイゴ5レンジャー隊顧問(京都醍醐センター株式会社代表取締役)
三宅 英知 伏見区役所醍醐担当区長

＜立会人＞

- 門川 大作 京都市長
久保 敦 京都市子ども若者はぐくみ局長

(4) 協定締結の趣旨

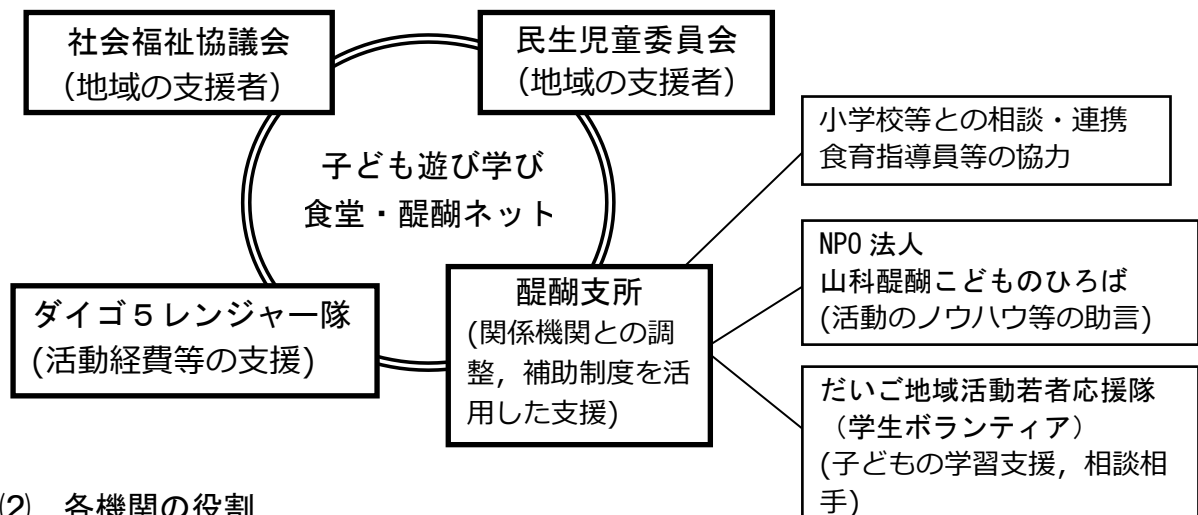
現在、醍醐地域では、醍醐西学区及び春日野学区において、地域のニーズに応じた地域主体の「子どもの居場所・子ども食堂」に取り組まれています。

こうした「子どもの居場所」は、家庭の経済状況等から生じる「困り」を抱える子どもを含めたすべての子どもたちが、見守ってくれる地域の大人や学生など、保護者以外の大人とのふれあいを通じて、安心感や自己肯定感を醸成する大切な機会であることから、地域資源を結集し、醍醐地域における「子どもの居場所」の安定的な運営や取組の拡大を支えるため、「子ども遊び学び食堂・醍醐ネット」を創設するものです。



2 「子ども遊び学び食堂・醍醐ネット」のイメージと役割

(1) イメージ図



(2) 各機関の役割

社会福祉協議会・民生児童委員会

- ・ 最も身近な地域の支援者として、子どもの居場所づくり及びその運営に主体的に取り組めます。

ダイゴ5レンジャー隊 (※1)・企業

- ・ 子どもの居場所の運営に関する食材の調達等への協力や経費の支援とともに、子どもの健全育成や社会教育に資する取組の実施に協力します。

醍醐支所

- ・ 事業の立ち上げや運営について、各機関の円滑な連携を図ります。
- ・ NPO 法人山科醍醐こどものひろばとの協力の下での運営等のノウハウの提供を行うとともに、子どもの学習支援や相談相手として、だいが地域活動若者応援隊 (※2) のメンバーを派遣します。
- ・ 小・中学校、子育て関係施設、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、育みサポーター、食育指導員等との必要な連絡調整を行います。

(※1) ダイゴ5レンジャー隊

ダイゴ5レンジャー隊～青少年の非行防止と健全育成を目指して～は、地域の自治町内会、少年補導委員会、防犯推進委員協議会が中心となり、山科警察署、醍醐地域の小中学校、府立東稜高等学校、パセオ・ダイゴロー、アル・プラザ醍醐、MOMOテラス、イズミヤといった企業及び醍醐支所が参画する組織で、青少年の非行防止等を目的に、地域のパトロール等に取り組んでいる。(平成 25 年 3 月 14 日設立)

(※2) だいが地域活動若者応援隊

学生ボランティアを中心に、まちづくり活動の支援に取り組む「だいが地域活動若者応援隊」を結成し、地域で実施される子どもの居場所づくりや健康長寿の取組、地域防災活動の充実など、行政と地域団体、NPO等が連携して取り組む、醍醐地域における新しい地域活動の仕組みを築き、地域課題の改善、解消に向けた取組を進めるもの。

(詳細は同日付の広報発表資料「だいが地域活動若者応援隊の結成について」を参照)